

2025年12月期中間期 決算説明会

2025.8.25

- 1** 2025年12月期中間期全社事業概要
- 2** 2025年12月期中間期事業別業績概要
- 3** 2025年12月期の取り組み進捗

- 1 2025年12月期中間期全社事業概要
- 2 2025年12月期中間期事業別業績概要
- 3 2025年12月期の取り組み進捗

2025年12月期中間期 業績ハイライト

単位：百万円	2024年12月期 2Q	2025年12月期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,618	1,435	△ 182	△ 11.3%
売上総利益	546	383	△ 163	△ 29.8%
売上総利益率	33.8%	26.7%	—	△ 7.1P
販売費及び一般管理費	477	472	△ 4	△ 1.0%
営業利益（△は損失）	68	△ 89	△ 158	△ 229.3%
営業利益率（△は損失率）	4.3%	△ 6.2%	—	△10.5P
経常利益（△は損失）	76	△ 94	△ 170	△ 223.8%
経常利益率（△は損失率）	4.7%	△ 6.6%	—	△ 11.3P
中間純利益（△は純損失）	49	△ 72	△ 121	△ 246.6%

売上高の減少に加え、**鋳造事業の採算性悪化**で営業損失を計上

貸借対照表サマリー

単位：百万円	2024年12月期	2025年12月期 2Q	増減額	増減率
流動資産	1,535	1,254	△ 281	△ 18.3%
固定資産	3,165	3,085	△ 80	△ 2.5%
資産合計	4,701	4,339	△ 361	△ 7.7%
流動負債	1,011	961	△ 49	△ 4.9%
固定負債	788	539	△ 248	△ 31.6%
負債合計	1,799	1,500	△ 298	△ 16.6%
純資産合計	2,901	2,838	△ 62	△ 2.2%
自己資本比率	61.7%	65.4%		

【資 産】 設備投資抑制と減価償却の進行で減少

【負 債】 借入金および未払消費税等が減少

【純資産】 中間純損失の計上により減少

【自己資本比率】 高水準を維持

キャッシュ・フロー計算書 サマリー

単位：百万円	2024年12月期 2Q	2025年12月期 2Q	増減額	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	649	368	△ 281	△ 43.3%
固定資産の取得による支出	△ 66	△ 134	△ 67	△ 101.9%
その他	0	0	0	-%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 65	△ 134	△ 68	△ 103.5%
短期借入金の純増減額（△は減少）	△ 50	△ 100	△ 50	△ 100.0%
長期借入れによる収入	100	-	△ 100	△ 100.0%
長期借入金の返済による支出	△ 143	△ 121	21	15.0%
リース債務の返済による支出	△ 38	△ 39	△ 1	△ 2.9%
その他	△ 12	0	△ 12	△ 96.8%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 118	△ 260	△ 141	△ 119.3%
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	465	△ 26	△ 491	△ 105.7%
現金及び現金同等物の期首残高	303	419	116	38.4%
現金及び現金同等物の期末残高	768	393	△ 374	△ 48.8%

営業活動によるキャッシュ・フロー 棚卸資産ならびに売上債権減少により減少
 投資活動によるキャッシュ・フロー 固定資産の取得による支出が減少
 財務活動によるキャッシュ・フロー 借入れ資金の返済を進めたことにより減少

- 1** 2025年12月期中間期全社事業概要
- 2** 2025年12月期中間期事業別業績概要
- 3** 2025年12月期の取り組み進捗

事業概要・事業領域

3Dプリンター事業

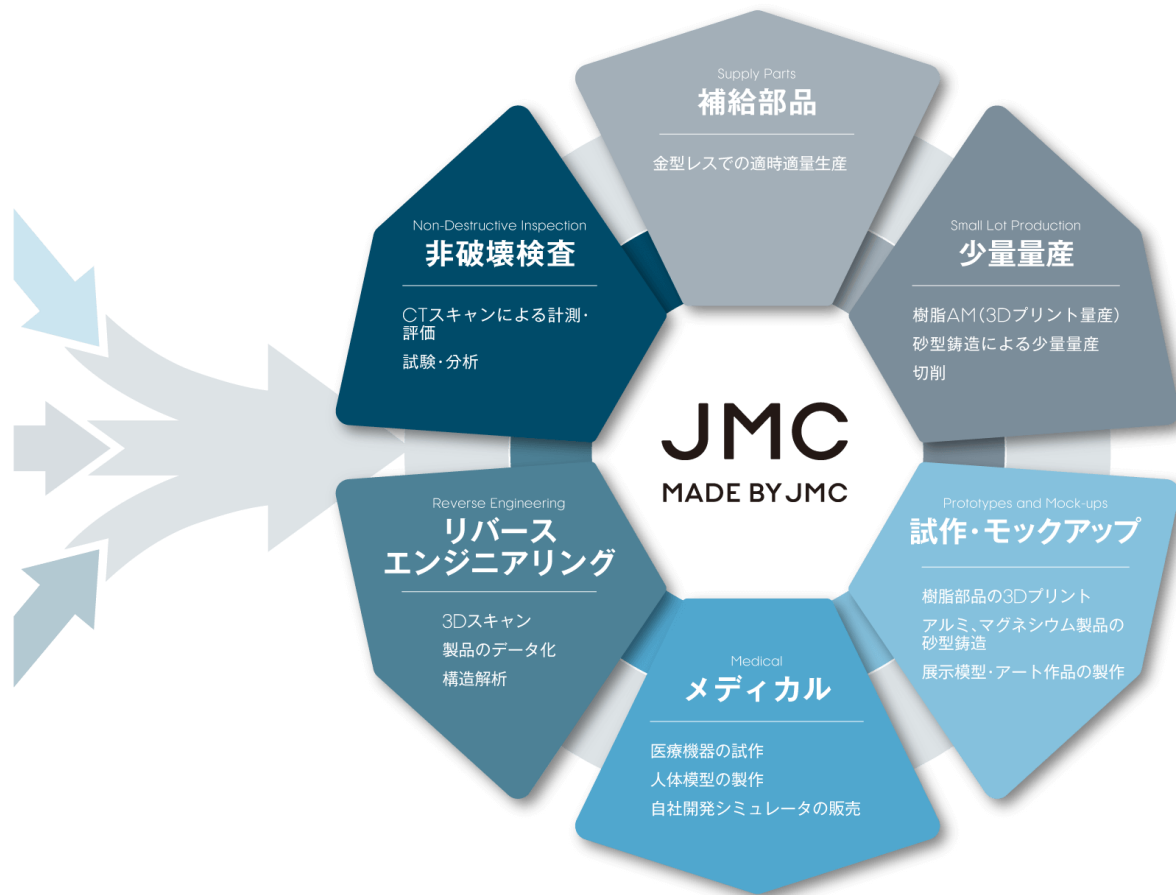
工業部品の試作から販促向けの模型、アート作品など幅広い分野に向けて3Dプリントサービスを提供。業界屈指のノウハウでお客様の課題を解決する。

鋳造事業 (砂型鋳造)

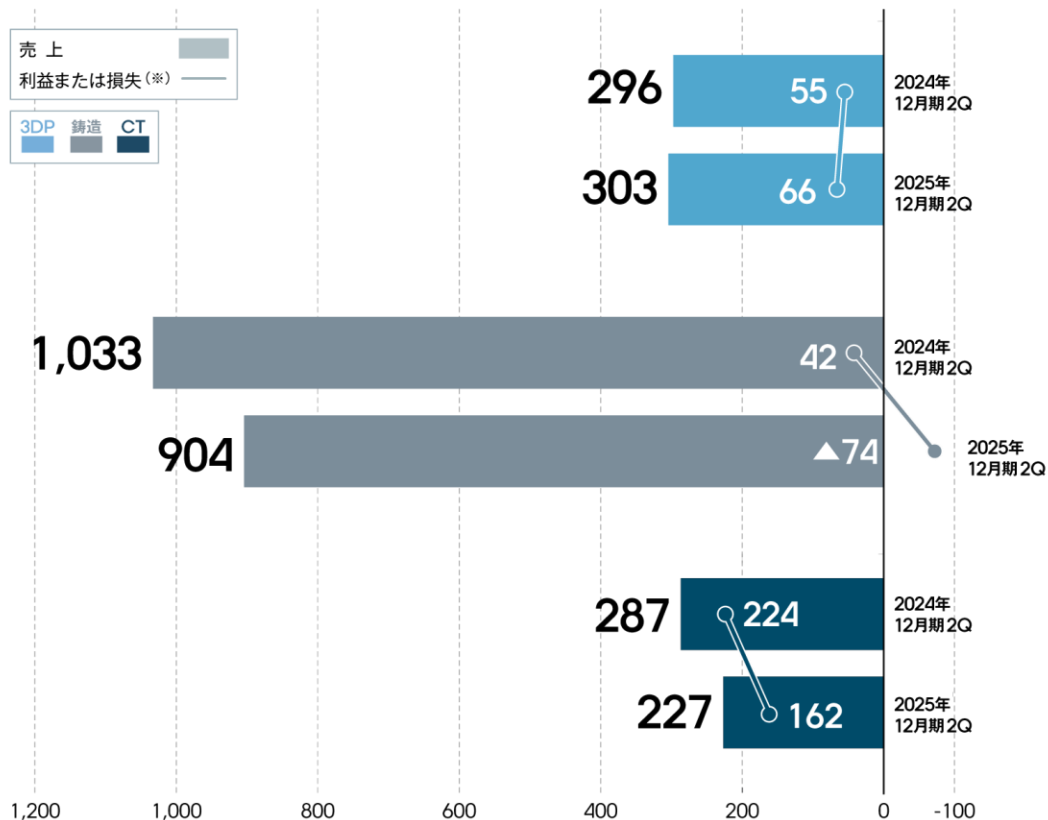
砂型鋳造によってアルミ、マグネシウムの鋳物製造を行う。高い品質と対応力を強みに、自動車・ロボット分野を中心に多くのユーザーから支持を得る。

CT事業

産業向けに特化したCTスキャナによって非破壊検査や、三次元測定サービスを提供。あらゆるニーズに対応可能な設備力・技術力によって業界トップの実績を誇る。



2025年12月期中間期 セグメント別情報



3Dプリンター事業

出力サービス

人材、装置リソース拡充で堅調に推移

HEARTROID

海外案件のクロージングに時間を要し、やや低調な実績

鋳造事業

難度の高い試作・量産が利益を圧迫

大型案件で想定を上回るコストが発生

不採算要因の洗い出しで底打ち感はあるが挽回まで至らず

CT事業

セミナー、展示会を通じ、計測・品質保証ニーズを獲得

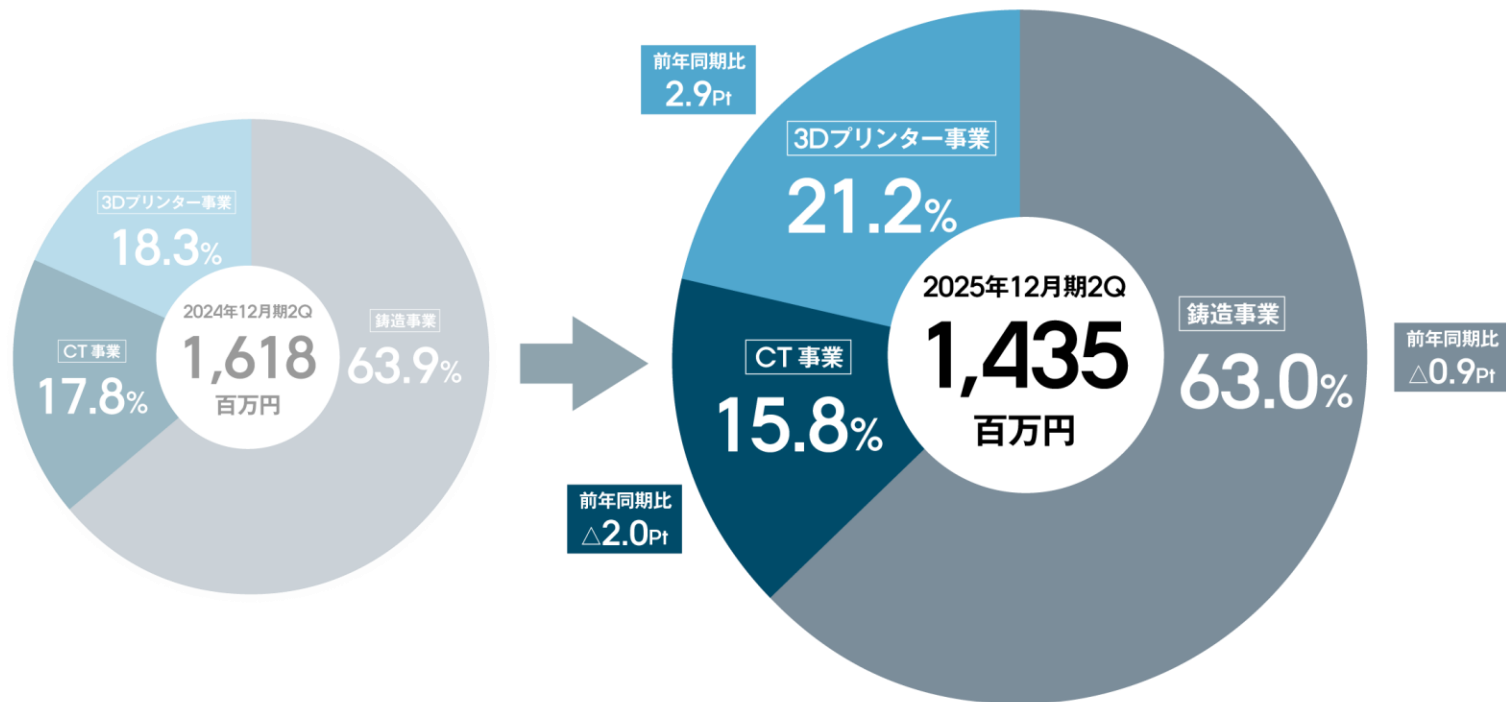
ボリュームのある全数検査、不具合選別案件が減少

(※) 一般管理費控除前のセグメント利益または損失

2025年12月期中間期 セグメント別情報

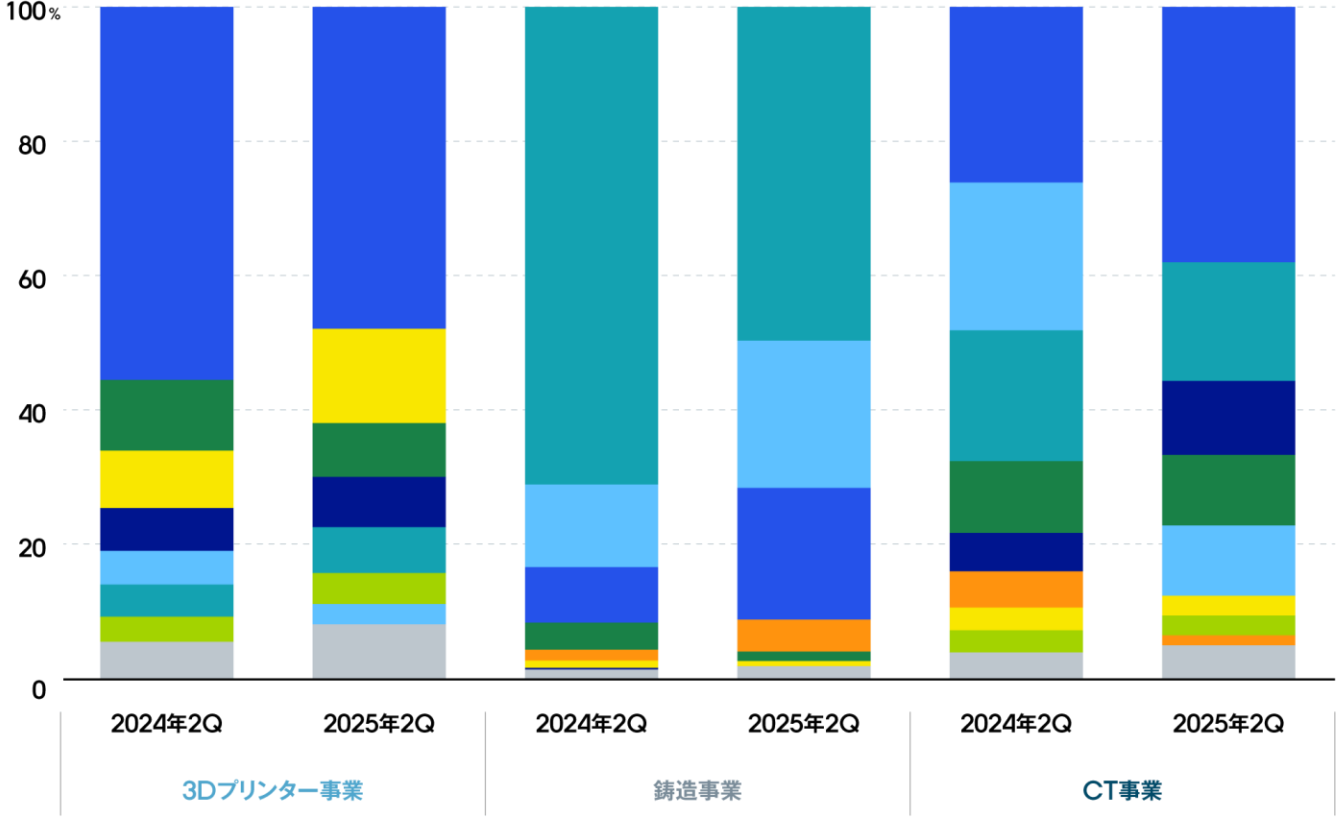
単位：百万円	売上高				セグメント利益または損失			
	2024年 12月期2Q	2025年 12月期2Q	増減額	増減率	2024年 12月期2Q	2025年 12月期2Q	増減額	増減率
3D プリンター 事業	296	303	7	2.4%	55	66	11	20.0%
鋳造事業	1,033	904	△ 129	△ 12.5%	42	△ 74	△ 117	△ 273.1%
CT事業	287	227	△ 60	△ 21.0%	224	162	△ 61	△ 27.6%
その他					△ 254	△ 244	9	△ 3.9%
損益計算書 計上額	1,618	1,435	△ 182	△ 11.3%	68	△ 89	△ 158	△ 229.3%

セグメント別売上高比率



産業別売上高比率

- 卸売業
- 専門サービス業
(他に分類されないもの)
- 電気機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業
- 精密機械・医療機械器具製造業
- 鋼工業、非鉄金属製造業
- 一般機械器具製造業
- その他製造業
- その他



2025 年 12 月期 見通し

A circular image showing a 3D printer in a factory setting.

3Dプリンター

A circular image showing a casting process with molten metal being poured.

鑄 造

A circular image showing a CT scan of a mechanical part.

CTスキャン

2025 年 12 月期 見通し

- ☑ 損失要因の特定、対策の実施に集中的なリソースを投入
- ☑ 事業領域の選択と集中も含めた挽回策を大胆に実施
- ☑ 足元の底打ち感を根拠に見通しは変えず

2025年12月期 見通し

単位：百万円	2024年12月期	2025年12月期	増減額	増減率
売上高	3,072	3,300	227	7.4%
営業利益	88	240	151	172.5%
営業利益率	2.9%	7.3%	–	4.4P
経常利益	122	230	107	87.1%
経常利益率	4.0%	7.0%	–	3.0P
当期純利益	50	150	99	196.0%

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

- 1** 2025年12月期中間期全社事業概要
- 2** 2025年12月期中間期事業別業績概要
- 3** 2025年12月期の取り組み進捗

現 状

新合金材に対する立ち上げの
研究・開発によりコスト増

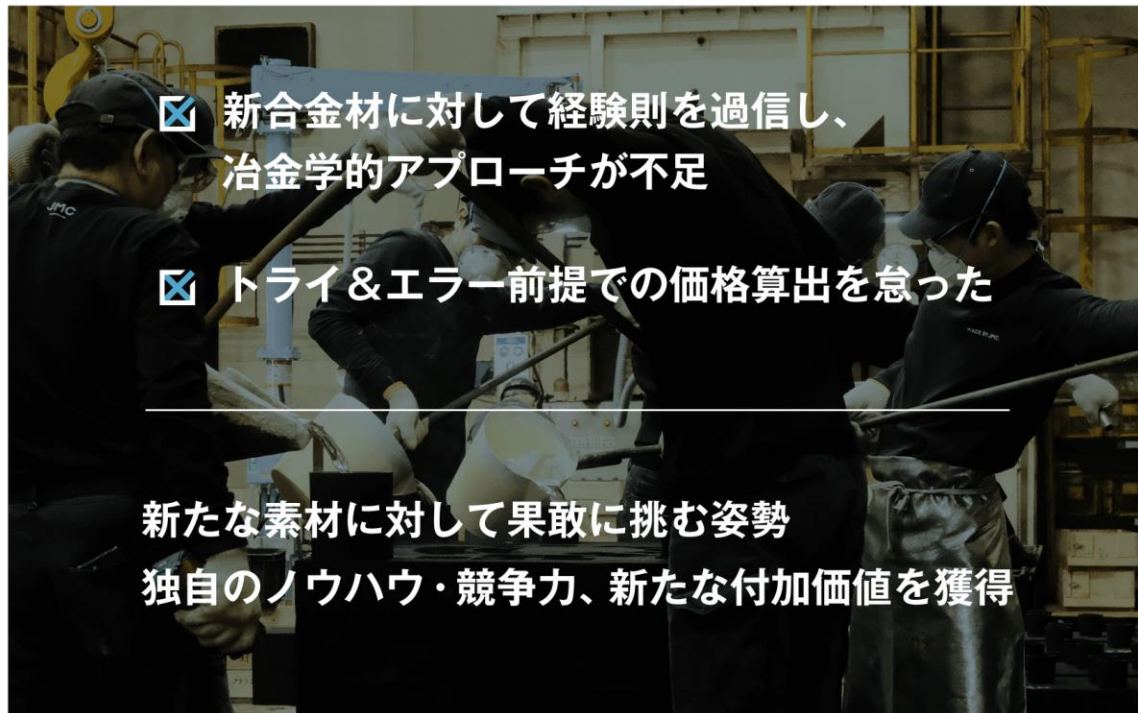


損失影響額：約 10,200 千円

原因の分析

- ❑ 新合金材に対して経験則を過信し、冶金学的アプローチが不足
- ❑ トライ&エラー前提での価格算出を怠った

新たな素材に対して果敢に挑む姿勢
独自のノウハウ・競争力、新たな付加価値を獲得



現 状

大型鑄造品の不良率が高止まり



損失影響額：約 38,000 千円

原因の分析

- ☑ 設備導入および取扱い習熟に時間を要した
- ☑ 事業部・工程内のノウハウ共有化・浸透の遅れ
- ☑ 顧客要求品質に対するオーバークオリティ

伊豆木 8 期棟（量産向け鑄造工場）の
生産効率改善に集中的に取り組む

現 状

EV向けコア鑄造部品の
高難度のプロジェクトで
品質レベル調整に時間を要した

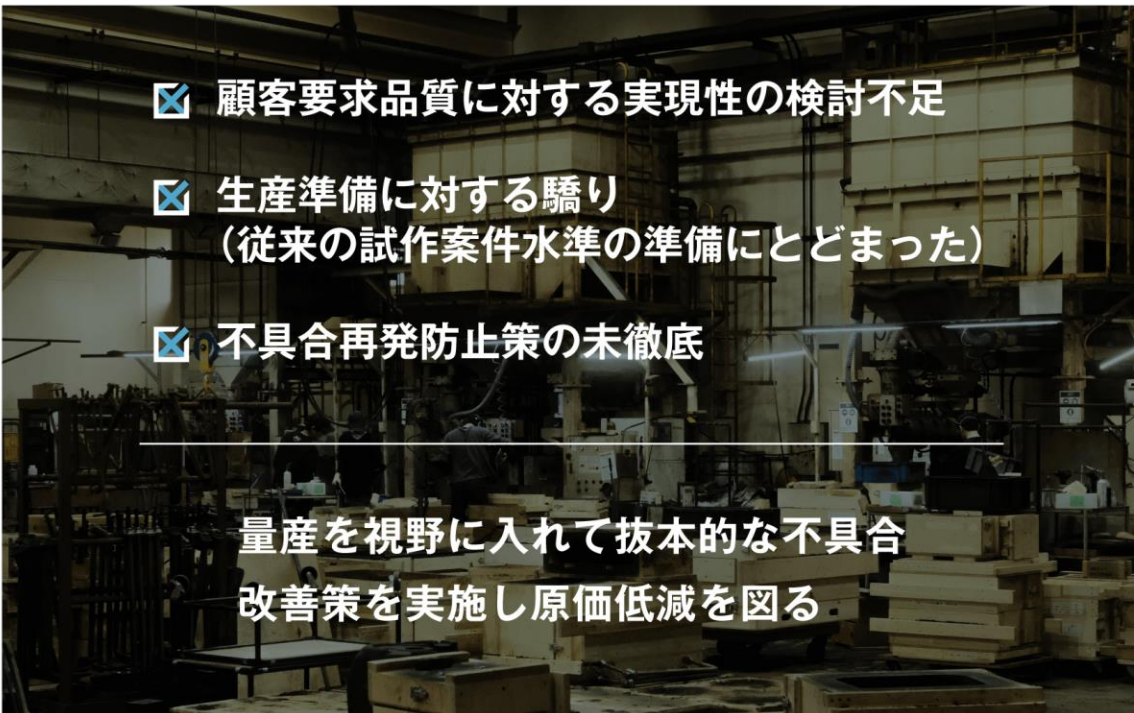


損失影響額：約 42,000 千円

原因の分析

- ❑ 顧客要求品質に対する実現性の検討不足
- ❑ 生産準備に対する驕り
(従来の試作案件水準の準備にとどまった)
- ❑ 不具合再発防止策の未徹底

量産を視野に入れて抜本的な不具合
改善策を実施し原価低減を図る



- 1 生産体制の見直しによる効率化
 - ☑ 人員配置の最適化
 - ☑ 生産検証の精緻化
 - ☑ エラー分析の強化
- 2 生産コスト抑制と販売価格交渉
 - ☑ 原価意識の徹底
 - ☑ 生産改善努力の継続



足元での底打ち感を確実なものとして業績の挽回を目指す

3

トップマネジメント含め リソースの集中投入

- ☑ 意思決定の迅速化
- ☑ 部門・工程をまたいだ指導・管理
- ☑ 短期間での生産改善実施

4

事業部門を越えた叡智の結集

- ☑ 顧客とともに冶金学知識を蓄積
- ☑ 各工程のつなぎ込み強化



足元での底打ち感を確実なものとして業績の挽回を目指す

振り返り

- ☐ バッテリー分野でのCT認知度の向上
- ☐ 共同セミナー、事例発表などを通じた啓蒙活動の継続
- ☐ 既存装置の入替も含めたニーズ調査を本格化
- ☐ 装置メーカーと共同で研究開発部門への積極的な提案とトライスキャン環境の提供

新たな成長ステージに向けた取り組み

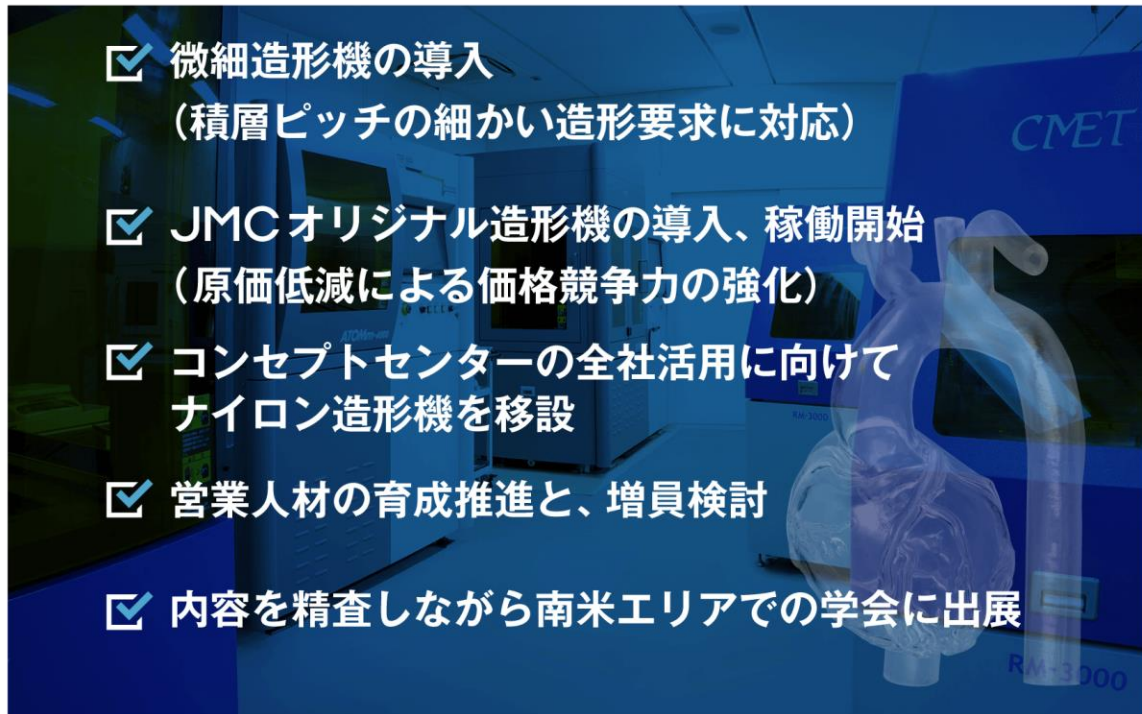
- ☒ セミナー、展示会での非破壊検査のメリット、可能性を訴求（周知啓蒙に立ち返る）
- ☒ 装置の性能維持と協力会社活用を積極的に推進
- ☒ 全数検査、選別案件がなくとも当社の収益源泉として規模拡大と効率的な事業運営を推進する

振り返り

- 独立系のサービスビューローとしての立ち位置強化
- 「マルチ3Dプリンターファクトリー構想」の実現
- 新たな有望市場として南米エリアをターゲット

新たな成長ステージに向けた取り組み

- ☑ 微細造形機の導入
(積層ピッチの細かい造形要求に対応)
- ☑ JMCオリジナル造形機の導入、稼働開始
(原価低減による価格競争力の強化)
- ☑ コンセプトセンターの全社活用に向けて
ナイロン造形機を移設
- ☑ 営業人材の育成推進と、増員検討
- ☑ 内容を精査しながら南米エリアでの学会に出展



全ての事業セグメントでの活用を推進



**まずは3Dプリンター事業における事業拡大を視野に
投資判断の精査を進める**

Appendix

会社概要



- 〔会 社 名〕 株式会社JMC
- 〔設 立〕 1992年12月18日
- 〔資 本 金〕 817,733千円
- 〔上 場 市 場〕 東京証券取引所グロース(5704)
- 〔従 業 員 数〕 172名(臨時雇用者含む) 2024年12月末現在
- 〔代 表 者〕 代表取締役社長兼CEO 渡邊 大知
- 〔本社所在地〕 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

ホームページのご案内



当社ホームページでは決算情報・プレスリリースのほか、各事業の詳しい内容を発信しています。

jmc-rp 
www.jmc-rp.co.jp

砂型による少量生産の具体例

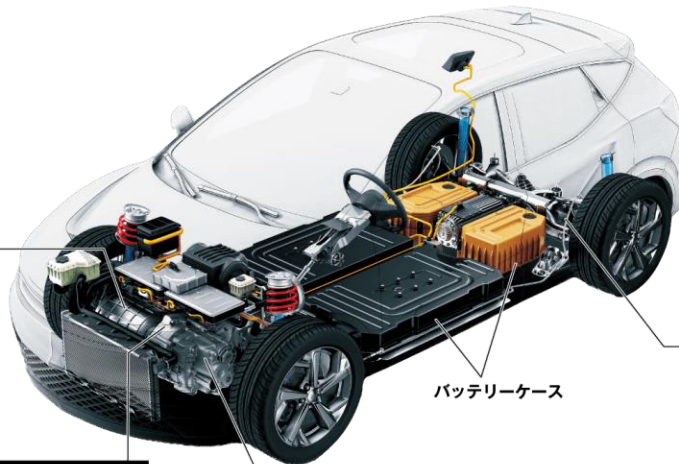


シリンダーヘッド
シリンダーブロック
オイルパン
ヘッドカバー
クランクケース
タービンハウジング

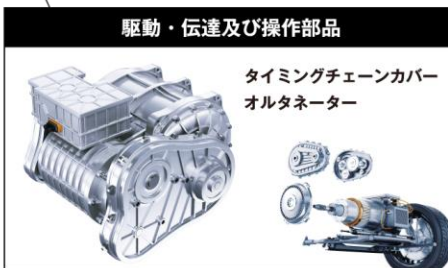
インテークマニホールド
フューエルデリバリーパイプ
オイルポンプ



モーターケース
インバーターケース



バッテリーケース



タイミングチェーンカバー
オルタネーター



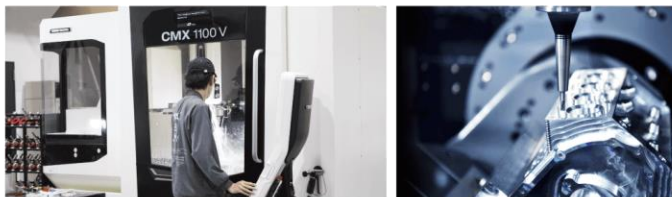
サスペンションメンバー
ブレーキキャリパー

ナックルアーム

工場紹介



事業紹介



鋳造事業

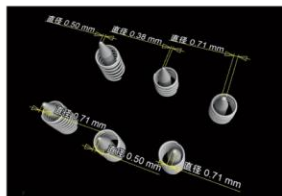
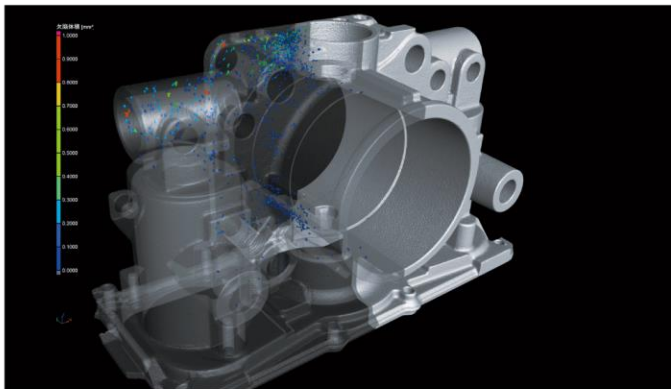
精密砂型鋳造による試作、量産を行っています。柔軟な材料対応力と、社内一貫生産による短納期対応、産業用CTを始めとする最新機器による高度な品質保証を特徴としています。



3Dプリンター事業

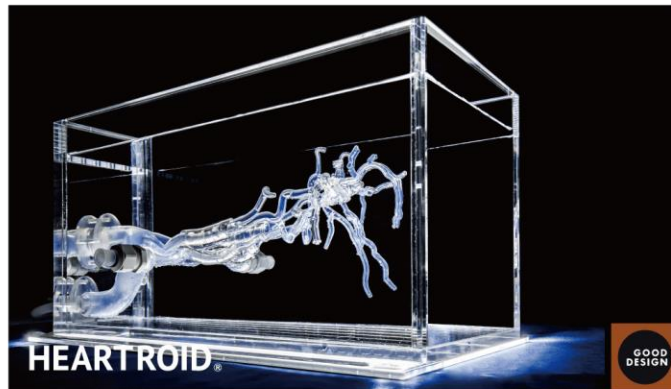
工業部品の試作やモックアップを3Dプリンターで製作するサービスを行っています。豊富なキャパシティで短納期化を実現します。また、2020年7月より3Dプリンターによる樹脂製品の量産サービスを開始しました。

事業紹介



CT事業

産業用CTスキャナを使用した三次元測定サービスを行っています。産業用CTは他の測定方法に比べ、複雑形状や複合部品のスキャンを得意としており、幅広い分野で活躍しています。



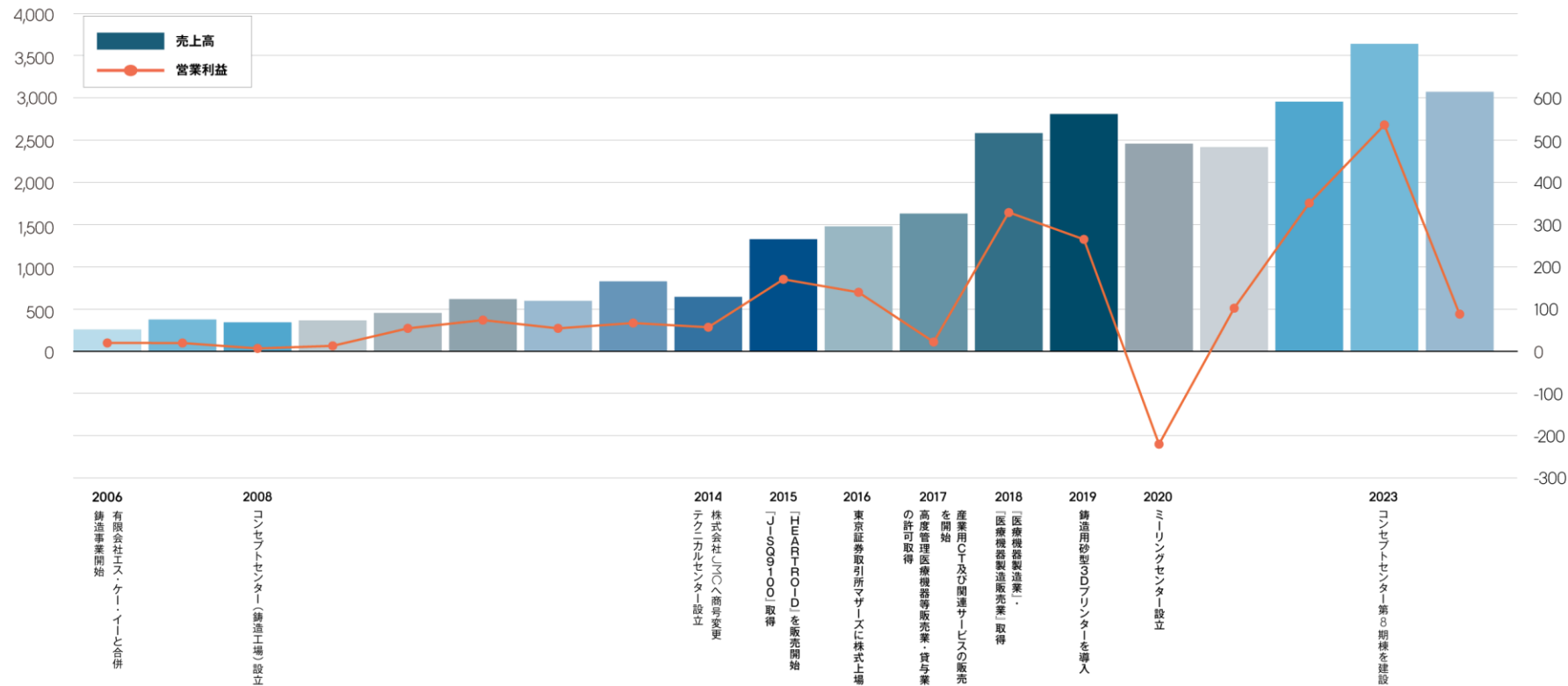
メディカル

心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」をはじめとして、3Dプリンター技術を活用したオーダーメイドの臓器モデルや医療用シミュレーターを開発・製造し、治療技術の向上に寄与しています。

業績推移

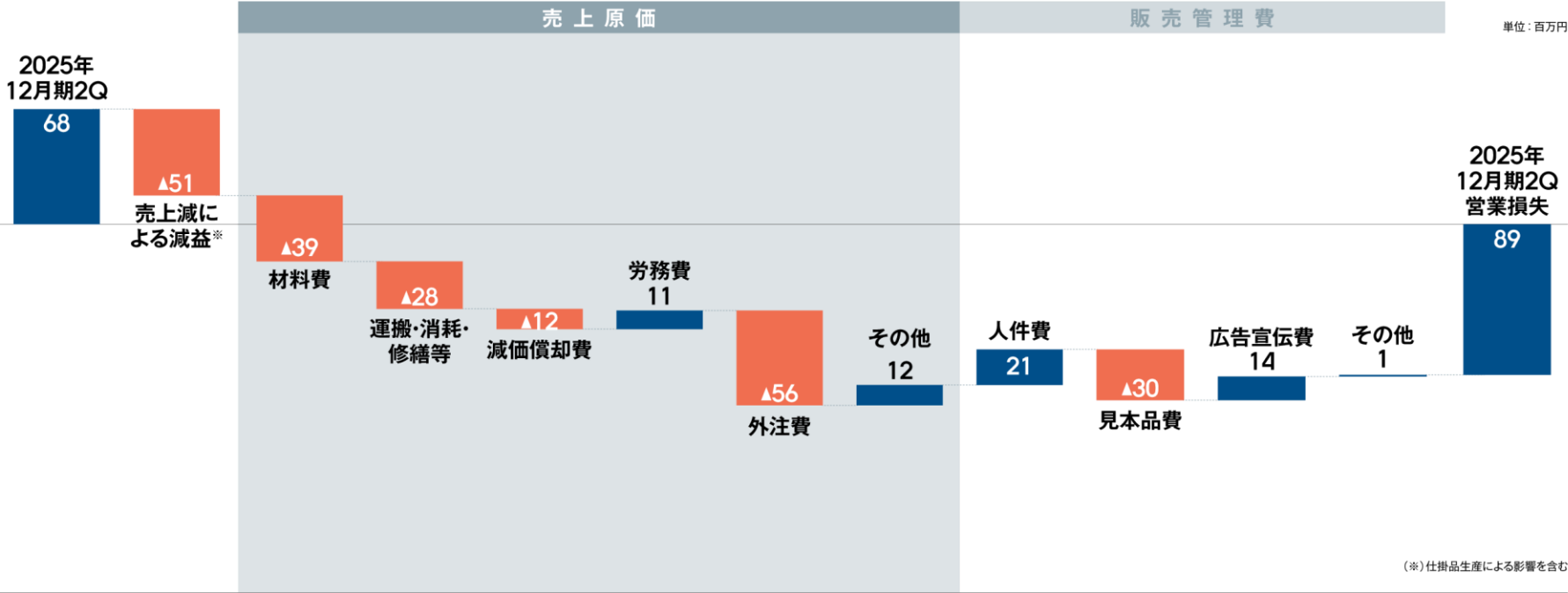
売上高（単位：百万円）

（単位：百万円） 営業利益



営業利益 増減分析

☑ 売上高の減少に加え、鑄造事業の採算性悪化で営業損失を計上



お問い合わせ



JMC コーポレートサイト
jmc-rp.co.jp/



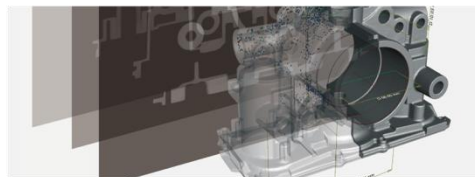
3Dプリンター出力サービス
3d-printout.com/



Additive Manufacturing
3d-printout.com/am/



砂型鋳造
metal-casting.jp/



産業用CTスキャンサービス
jmc-ct.jp/



HEARTROID
heartroid.jp/



PZ
pz-vehicles.com



CT生物図鑑
ctseibutsu.jp/



3DiH 3D Innovation Hub
3dih.jp/



将来の見通しに関する注意事項

本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。

将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料中に記載されているロゴ・会社(機関)名・製品名は、各社(機関)の登録商標または商標です。

◆本件に関するご連絡先◆

株式会社JMC 経営企画室

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

電話番号:045-477-5751 E-mail:ir@jmc-rp.co.jp